同友ぐんま

第406号
2015年
12月号

発行/群馬中小企業家同友会　〒371-0013　前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F　TEL 027-232-0001　FAX 027-232-0666　E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

「人を生かす経営」を学び、そして実践へ

2015経営研究集会を開催

十一月十九日（木）、川場村のホテルＳＬを会場に「二〇一五経営研究集会」が開催されました。会の内外から総勢一七〇名が集い「〝人を生かす経営〟を学び、そして実践へ」のスローガンのもと、熱気溢れる大会となりました。

基調講演の講師には、男性多数の建設業界において、働く母・女性一級建築士としてワークライフバランスを実践し、全国の女性建築家・デザイナーなどで結成された「ＪＫＤＴ女性建築デザインチーム」の代表を務める、㈲ゼムケンサービス、社長・籠田淳子氏（福岡県北九州市）を迎え「大工の娘、二代目経営者が描く働き方のデザイン～女性力を活かす！業界イノベーション」と題して、ワークシェアリングや男女共創による組織づくり、女性建築デザインチームの立ち上げ秘話などを振り返りながら、その中で得た学びや教訓を忌憚なく披露していただきました。

「女性のチャレンジ賞」「ダイバーシティ経営企業一〇〇選」「女性が輝く先進企業表彰」と三年連続で国家表彰を受賞するなど、業界の内外から注目を集め、さらに進化を続ける籠田氏の言葉。その一つ一つが参加者の胸に深く刻み込まれたことは想像に難くありません。

基調講演後のグループ討論では、「一人一人の個性を生かす」「女性力を強みに変える」「十年後を見据えた会社づくり」「事業承継」というキーワードを基に意見交換。自社の課題や展望、経営者としての考え方や哲学などを参加者それぞれが交流し、明日への確かなヒントを持ち帰りました。

参加者アンケートには「ワークライフバランス＝仕事と生活の相乗効果。その考え方がたいへん参考になった」「男性がいるからこそ女性がさらに輝けると改めて思った」「これからの時代に必要な考え方であり、自社でも実践が必須と感じた」などの感想が寄せられていました。

What's マイナンバー制度
青年部会10月例会

「What's マイナンバー制度？～何がどう変わり、どんな準備をすれば良いのか!?～」をテーマに、青年部会十月例会を開催。県の垣根を越えた交流の一環として、千葉同友会の青年部会メンバー十二名を迎えたほか、十月末開催ということで、昨年に続きハロウィンの仮装で会場入りした参加者も多数おり、硬いテーマに反して大変賑やかな集まりとなりました。

講師として招いたのは、群馬県よろず支援拠点、サブコーディネーター・笹尾博樹氏。配付資料「マイナンバー制度ガイドブック」に基づき、マイナンバーの取り扱い、保管・提出・交付の仕方など、企業側がすべき事柄を一つ一つ丁寧に解説いただきました。また、事例紹介として、㈱アミイダ・阿久戸社長が「自社でどのような準備をしたか」を社員向けに作成した資料を使って説明しました。

参加者アンケートには「専門家によく相談・確認する必要性を強く感じた」「自社に合ったルールづくりをすすめていきたい」「他社がどんな準備をしているかが気になった」などの感想が綴られていました。

より困難を求めて、より高きへ
渋川吾妻支部10月例会

十月二十九日の例会は、先達に聞くシリーズの第四弾として、同友会顧問で蔵前産業㈱会長の橋本勝氏（前橋支部所属）を報告者に迎えました。

同社が基本理念として掲げる「より困難を求めて、より高きへ！」をテーマに橋本氏は、自社の歩みと群馬同友会の歴史を、その時々のエピソードを交えながら紹介しました。

参加者からは「経営理念に橋本会長の思いが詰まっていることを知り、改めて理念の重要性を知った」「同友会の素晴らしさがよくわかった」「企業は永遠に続かなければ意味がないという言葉の重みが心に響きました」「同友会を守り抜いて下さった先人達の想いを受け継いで頑張ろうと思います」などの感想が述べられていました。

消防設備・電気設備・PDCE避雷針のことなら
関東防災工業株式会社
■本　社　〒371-0857　前橋市高井町1-29-7　TEL (027) 251-3535
■安中営業所　〒379-0126　群馬県安中市西上磯部1736　TEL (027) 385-5261
■東毛営業所　〒370-0514　群馬県邑楽郡大泉町朝日5-8-21　TEL (0276) 55-3770

本格外断熱、コテ模様仕上げ　世界初!
発泡スチロール球入りZウォールは、暖まった部屋が冷めにくいという節電効果ともう一つ、壁内結露の減少により長寿住宅にするという目的があります。
施工前
施工後
【小冊子無料送付】送付先明記でFAX、メールにてご請求下さい。"塗り替えをする前に知っておきたい知識"

高品質・高機能塗装　(有)クチキテック
代表取締役　朽木（くちき）　康（こう）
〒378-0015　沼田市戸鹿野町324－3
携帯 090-4911-8900
TEL 0278（22）0691
FAX 0278（22）0696
E-mail:kuchikitec@yahoo.co.jp　URL:http://www.kuchikitec.jp　クチキテックで検索
本店・高崎店　共通お客様フリーダイヤル　0120-51-4152

これからもお客様の信頼を糧に
私たちにできること。
それは
未来の地球のために、
そしてお客様にも、
やさしい企業であること。
「水なし印刷」をお薦めします
「水なし印刷」は、有害な廃液を含む湿し水を一切使用せず
現像工程の現像液使用量・廃液量も大幅減、またCO₂排出量も削減します。
環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。
私たちは、これからも環境に、お客様にやさしい企業を目指します。
JOBU PRINTING CO., LTD.
TELEPHONE 027(352)7445　FACSIMILE 027(352)2953
E-mail:eigyo@jp-t.co.jp　URL:http://www.jp-t.co.jp
上武印刷株式会社　〒370-0015 高崎市島野町890-25
16190178(04)

選んだ道を最上にするために
高崎支部10月例会

十月二十九日（木）、ビエント高崎を会場に「高崎支部十月例会」を開催。税理士＆中小企業診断士として活躍する（税）田子会計事務所、副所長・田子宏美氏（前橋支部）が報告者を務め、「選んだ道を最上にするために～男子系女子の税理士、後継者として日々努力中～」をテーマに、自身の経営体験を語りました。

田子氏は、仕事紹介・自己紹介に続き、名古屋の大手会計事務所から群馬に戻り、家業を継ぐ選択に至った経緯を説明。「お付き合いしていた男性を父親に紹介した際に、〝娘は事務所を継ぎます〟と初めて聞かされた。様子見で一年だけ群馬に戻るつもりが、そのまま家業に入ることになった」と当時を振り返りました。

後継者として入所後は、事務所改革や新分野開拓を実行しようと一人奮闘しますが、「社内からの反発もあり頓挫。また自分自身も孤立する結果を招いた」と言います。しかし、積極的に社員に近づく心掛けや信頼を得る努力、経営理念の共有などを通して、少しずつ状況が変化。さらに「一番の財産である信頼、そしてお客様、社員を守らなければという責任感」の芽生えとともに「改革がしやすくなり、結果もついてきた」と語りました。

その後も人材育成、ターゲット明確化、サービス強化、プロモーションなどの各種改革とその結果を一つ一つ丁寧に説明していった田子氏。最後に今後の展望について、「四十才で代表交代をする。知識・経験不足、ナンバー2の育成、組織づくりなど課題は数多くあるが、信頼を守りながら変革をすすめたい」と力強い言葉で決意表明しました。

報告終了後は「選んだ道を最上にするためには?」をテーマにグループ討論を実施。「結果を求め続ける姿勢が大事」「まずは最上の定義を決めるところから」「先代と比べられるのが後継者の宿命」「選んだからには責任を持って努力し続ける」など、活発な意見が交わされました。

会社の方向を決めた大転換
桐生支部10月例会

各種建築工事の施工・管理を手掛ける㈱シマダ工務所、代表取締役・篠原章氏（桐生支部）が報告者を務め、「会社の方向を決めた大転換～注文建築から太陽光パネルに～」をテーマに経営体験を語りました。

公共工事の見直しや業者の飽和状態、さらには人口減少社会への突入などを理由に、「約二十年前から建設業界が厳しくなるのは目に見えていた」と語る篠原氏。そうしたなか、いち早く情報を掴み、ある説明会への参加をキッカケに「太陽光発電パネル事業への参入を決めた」と言います。その後、多額の供託金や設置補助金の終了など、度重なる資金繰り難を乗り越えた生々しいエピソードを紹介。主力事業にまで育てた道のりは、決して平坦ではないことが窺い知れました。

報告後のグループ討論では、「情報にアンテナを張り巡らせる経営姿勢が大事」「待っていても何も始まらない。ツキは自分で呼び込むもの」「金融機関の存在意義を改めて考えさせられた」など、活発な意見が交わされていました。

事業承継、後継者の本音

前橋支部10月例会

十月二十八日（水）、前橋市中央公民館を会場に前橋支部十月例会を開催。先月の社長の報告に続き、関東防災工業㈱、取締役副社長・宮崎慎司氏が「事業承継、継ぐ者としてようやくみえたもの～二代目として思う本音、後悔そして希望～」と題して、入社から現在に至るまでの自身のモチベーションと会社の状況をグラフで紹介しながら、後継者であるが故の苦悩を赤裸々に報告しました。

「基本的に利己的な理由で継ぐことを決意した」と振り返る宮崎氏は、入社時から関連会社への出向勤務となります。実際に現場に出ると「目の前の仕事に追われ、本来の目的を見失っていた」と言います。二年の出向から戻り営業として働き出すと、上司のいない状況から「自分だけが頑張っていると感じるようになり、当時は孤独感と焦燥感から、社長も含め信じられる人がいなかった」と振り返りました。

そんな宮崎氏が前向きに変わったキッカケの一つが、社員の家族も招待した慰安旅行でした。「社員が家族に向ける表情や、家族の顔を見たときに背負うものの大きさに気が付いた」と言います。しかし、本気で継ぐことを意識したとき「社内で評価されることの無かった自身の能力への不安。社長の考えを理解できているのか」という新たな悩みと「創業期の社長と一緒に働きたかった」という想いが芽生えたそうです。

不安や後悔、悩みを感じながらも未来を見据える宮崎氏は「現在の防災という言葉から来る守りのイメージを払拭し〝攻める防災〟をキーワードに今後の展開を検討してる。問題も山積しているが、それを解決してく事が自分の役目であり、未完成な会社をみんなで完成させ目標を達成させたとき、関東防災工業は最高の集団になる」と報告を締めくくりました。

参加者アンケートには「同じ後継者として共感する部分が多かった。個人的に話し合いたい」「承継後の会長、社長、さらに後継者という立場の人が同じテーブルに座り意見交換出来たのは良かった」「事業承継後、また報告してもらいたい」などの感想が記されていました。

社員のモチベーションが上がらない理由

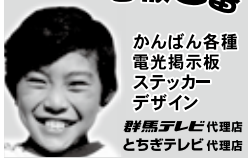
伊勢崎支部10月例会

労働者派遣・各種コンサルタントのスクート、代表・高山和則氏が報告者を務め、伊勢崎支部十月例会を開催。テーマは「社員のモチベーションが上がらない理由～多様な働き方への対応と辞めない会社づくり～」。

モチベーションを上げる目的を「社員が定着して業績が上がる。結果として会社が儲かる」という単純明快な論理で説明した高山氏。経営者と社員、それぞれが考える良い組織の違い、モチベーションを形成する各種要因、社員が成長するサイクルや教え方などを踏まえ、「モチベーションは本人にしか上げられないが、経営者はそのキッカケをどう与えるかがポイント」との見解を示しました。

報告終了後は「社員のモチベーションを上げるには？」をテーマにグループ討論を実施。「経営者にとって永遠の課題である」「顧客の声を現場にフィードバックする仕組みづくり」「目標管理を効果的に活用したい」などの意見が交わされました。

部品加工の　株式会社 マテハン
同友会の製造業と連携して
北関東機械加工センターを目指します。
ホームページで仕事の受注が出来ました。
好評「部品加工のマテハン」
URL:http://www.kk-matehan.co.jp/
E-mail:mth@kk-matehan.co.jp
従業員数　12名
代表取締役　島山　淳
群馬県太田市矢田堀町351-6
TEL　0276(37)4571
FAX　0276(37)4562

笑顔1番 看板2番

かんばん各種
電光掲示板
ステッカー
デザイン
群馬テレビ代理店
とちぎテレビ代理店
地域密着型フリーペーパー ふりぺっこ

活気ある街並み創る 東和広告システム
株式会社 東和広告システム
〈本社〉桐生市境野町7-50-1　☎0277-32-5503
〈高崎〉高崎市菅谷町369-1　☎027-388-0356
〈埼玉〉加須市騎西31-1　☎0480-31-8412
〈宇都宮〉宇都宮市兵庫塚3-10-24　☎028-678-6631

今を生きる女性社長

太田支部10月例会

十月二十二日（木）、休泊行政センターを会場に太田支部十月例会を開催。産業廃棄物収集運搬、産業廃棄物リサイクルの提案などを行う㈱エスティビー、代表取締役・杉崎由里氏（前橋支部・青年部部会長）が「今を生きる女性社長～人の社会の毎日に消えない灯を～」と題して、体験報告を行いました。

現会長が「ゼロエミッション」を掲げ創業した同社を引き継ぎ、同友会の「人を生かす経営」を実践中の杉崎氏。報告で語られるエピソードでは「社員共育」「経営指針」などで得た気付きを社内で実践する姿勢が見てとれました。また、本年度から群馬同友会の青年部会長として活動する想いを「点と点を結び線に、さらに線を繋ぎ面に広げ、会員各社の健やかな繁栄の為に有益な活動を行う部会に成長させたい」と語りました。報告の最後に「同友会活動は足りていますか？」との問題提起があり、グループ討論ではそのままテーマとして話し合われました。

グループ討論の発表では「行事や例会への出席回数ではなく、自社の業績で判断する事が大切。足りていれば結果が現れるのが同友会活動」と発表され、参加者の意識の高さと同友会活動への期待の高さが伺えました。

顧客の囲い込み

沼田支部10月例会

十月二十九日（木）、利根沼田文化会館を会場に沼田支部十月例会を開催しました。

「お客様は神様です！家電店の顧客管理経営～顧客の囲い込み～」と題し、㈲利根無線商事、樋之口武志氏が「街のでんきやさん」と言われる地域家電店の経営を報告しました。

不特定多数のお客様に、店舗で販売する家電量販店との違いを「特定多数のお客様（お得意さま）に訪問先で販売すること」として「お得意さまに、次も利用していただける業務努力が囲い込みである」と説明しました。お得意さま宅に訪問し、世間話の中から生活の困りごとを聞き出し、それを解決することで信頼を得ることが業務で、時には本業以外のことも引き受けるそうで「大げさに言えば、顧客の生活維持を死守する心構えでいる」と自身の考えを語りました。また「三方よし（売り手・買い手・地域）を体現する街のでんきやさんとして、今まで以上の努力を重ね、地域に必要とされ続けたい」と報告をまとめました。

参加者アンケートには「人柄が伝わる経営内容だった」「今後の新規顧客獲得に向けての話しも聞いてみたい」などの感想が記されていました。

キーパー財務15・経営羅針盤15

財務の力を経営の力に

キーパー経営羅針盤15 なら、会社でも自宅でも自社の財務状況をリアルタイムに把握し、チェックすることが可能です。

同友会 高崎支部会員

株式会社 シスプラ
http://www.syspla.co.jp/
0120-638-377
群馬県高崎市問屋町3-10-3 問屋町センター第2ビル
TEL.027-363-8377 FAX.027-363-8313

アルミ精密部品の切削加工メーカー

有限会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします！

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058　FAX0276-30-4059
URL：http://www.apm-f.com　E-mail：fuse@apm-f.com

会員企業紹介
わが社の
イチオシ

ペレットストーブ、その暖かさは太陽と大地からの贈りもの

㈲ムラヤマトーヨー住器

社長　**村山　徹**　氏（沼田支部所属）

Q&A

▼会社紹介

当社は昭和三十九年、父が創業した「村山家具店」としてスタートしました。私自身は大学卒業後の三年間、大手建材メーカーに勤めてから入社し、三十三才で代表に就任しました。

今から十五年ほど前、旧トステムのフランチャイズに加盟する際に現在の社名へと変更し、様々な商材を取り扱うようになりましたが、群馬の最北端に位置することから市場性の限界を感じ、経営の軸をエンドユーザーへと移行してきました。そしてお客様一人一人と真剣に向き合ううちに、今では「住」に関するあらゆるプロデュースが出来るまでに発展しました。

中でも時代と共に環境に向き合った「創エネ住宅」への対策、地球温暖化防止への分野に関しては、自らの実践を通して大きな成果と実績につなげています。家の中に環境効率の高いしくみを取り入れることにより、一人一人が環境に対する意識を持つ。その意識こそが自然を守り続ける大きな原動力になると考えています。

▼ペレットストーブの販売を始めたきっかけは？

経営のスタンスをエンドユーザーに切り替えただけでは差別化につながらないことから、約八年前に環境にも優しく、物語性のある「ペレットストーブ」の販売を始めました。業界では早いほうでしたが、当時はペレットストーブ自体を知らない方も多く、単なる普及活動に終わっていたような感じです（笑）。

ペレットそのものは、オイルショックの時に代替燃料として一度脚光を浴びたことがありましたが、その後、原油価格が下がるにつれて石油ストーブに戻ってしまいました。しかしながら近年は、二酸化炭素削減など世界的にも環境への意識が高まっているので、今後ペレットストーブはますます普及していくものと確信しています。

▼ペレットストーブとは？

ペレットストーブは木質ペレット燃料を使用します。これは間伐材や製材端材といった木質原料を粉砕・圧縮・成形した固形燃料です。燃焼時に発生する二酸化炭素は、樹木が成長する時に吸収する二酸化炭素の量と同じなので、大気中の二酸化炭素を増加させることはありません。

しかもペレットは大変扱いやすく使用後の灰は、肥料として使うことが出来ます。言ってみれば、その暖かさは太陽と大地からの贈り物なのです。

▼今後の抱負

常にお客様のメリットを第一に考え、「住」関連産業で地域のトップを目指し、チャレンジし続けたいと思います。

そして事業全体に占める比率はまだまだですが、未来の地球の為にも「ペレットストーブ」を皆さんに勧めていきたいと考えています。その一環として来春には、高崎市内へペレットストーブを体感できるショールームをオープンします。

遠赤外線効果で身体の芯まで暖め、血行を良くする効果があり、その上、ゆらゆらと燃える炎は、心のやすらぎも与えてくれます。心地よい暖かさ、そして炎を見ているだけで癒されるペレットストーブの周りには、自然と家族が集い楽しい会話が広がる、そんな家族団欒を思い浮かべつつ、県内への普及に尽力したいと思っています。

所在地／利根郡みなかみ町布施４３６－１
連絡先／TEL０２７８－６４－０５４８
ＵＲＬ／http://www.46style.com/

会員たんしん

同友会のホームページで会員検索できます。

【輸出販売拡大へ新工場】　ルアン㈱

増毛商品「スーパーミリオンヘアー」などを製造販売するルアン㈱（代表取締役・阿部稔氏、前橋支部所属）は前橋市天川大島町の前橋木工団地内に、工場を建設する。輸出販売の拡大などに向け、化粧品製造の国際規格に準じた施設を整備する方針。生産能力は２～３倍となる見通し。８月に着工済みで、来年３月の完成を目指している。

阿部社長は「他社に先駆けて、安全性を第一に考えた工場とし、お客さんに安心を提供していきたい。工場もオープンにして差別化につなげ、当社や当社の製品のファンを増やしていきたい」と話している。［10／29付ぐん経］

【新業態焼き肉店オープン】　㈲ヤマキコーポレーション

飲食店を展開する㈲ヤマキコーポレーション（取締役社長・山崎裕紀雄氏、伊勢崎支部所属）はこのほど、「焼肉・ステーキ　鐵（てつ）」（伊勢崎市本町）をオープンした。鉄板焼きカウンターを備えた、全室個室の新業態焼き肉店で、県内産の肉や野菜、産地直送の魚介類などを中心に提供する。店舗面積は約230平方メートル。店内にはグランドピアノを配置。鉄板焼きカウンターは天然のカシを使っており、個室スタイルの落ち着いた雰囲気。

同店では「いいものをリーズナブルに提供する。上州和牛と他の国産牛との食べ比べをしてもらえれば。当社にとって初めてのスタイル。今後も出店を検討していきたい」としている。［11／５付ぐん経］

【「ゴミ」の処理方法などを解説】　㈱丸越

産業廃棄物と不用品回収の㈱丸越（代表取締役・堀越正和氏、渋川吾妻支部所属）は10月26日、群馬建設会館でセミナー「それいけ！まえばし出前講座～知らないとこわいゴミの法律～」を開いた。廃棄物処理業者や排出事業担当者ら、約60人が参加した。セミナーは２部構成。１部は前橋市環境部廃棄物対策課の大山和宏審査係長が講演。２部は堀越社長が、「排出事業者として守らなければならないポイントについて」として大山係長の話に付言したほか、取引先企業のCSR事例での環境保全について紹介。「環境コンプライアンスは年々強く求められている。社内でもリサイクルなどで環境に寄与できる。皆さんと一緒に考えて取り組んでいけたら」と提案。参加者らがメモを取りながら真剣な表情で聞く姿が見られた。［11／５付ぐん経］

【空調服の売れ行き好調】㈲企業ユニフォームアカデミー

作業服、事務服などを販売する㈲企業ユニフォームアカデミー（代表取締役・藤井雅巳氏、太田支部所属）は、県内でも珍しい空調服を販売している代理店だ。空調服とは両脇下部にファンが付いている作業服。ファンから取り入れた空気を体とユニフォームの間に流し、汗が蒸発する際の気化熱で体温を下げる「生理クーラー」と呼ばれるメカニズムを利用している。近年の猛暑で急激に販売数を伸ばしており、同社では４月から８月の間で約1000着を販売した。

藤井社長は「８月までは外での作業が多い業者への販売が主だが、これからは屋内が暑くなる工場の需要も増えてくる。工場が多い太田で販売数をさらに増やしていきたい」と話している。［11／５付ぐん経］

【第２期の施設拡張工事完了】　㈱ナカダイ

産業廃棄物処理業の㈱ナカダイ（取締役常務・中台啓一氏、伊勢崎支部所属、管理部長・越智靖政氏、前橋支部所属）前橋支店はこのほど、昨年から進めてきた施設拡張の第２期工事を完了し、屋内での設備稼働を開始した。拡張工事は全３期で計画。約１万平方メートルの敷地内で、昨年10月には第１期工事として既存施設を改修した。２・３期は、敷地内北側で屋外処理施設として利用していた扇状の土地に全天候型施設建設を計画。２期は施設のほぼ半分の約360平方メートルにRPFラインとして竣工。適正な設計許可を受けて稼働した。

中台常務は「99％リサイクルという当社の役割期待にこたえ、お客様とともに廃棄の問題に取り組むことで互いの企業価値が高まるよう努めていきたい」と話している。［11／12付ぐん経］

【地域資源活用計画が認定】　鳥山畜産食品㈱

中小企業地域資源活用促進法に基づき、10月21日付けで「地域産業資源活用事業計画」の認定を受けた県内２事業者への認定書交付式が10月30日、県庁昭和庁舎で開かれた。「地域産業資源活用事業計画」とは、中小企業者が産地の技術や農林水産品、観光資源といった地域資源を活用した事業計画を策定し国の認定を受けると、補助金や融資制度などの面で支援を受けることができるもの。今回認定を受けた計画は、鳥山畜産食品㈱（代表取締役・鳥山真氏、沼田支部所属）の「群馬県産赤身肉質を追求した嗜好別牛精肉および加工品の製造・販売」と、茂木食品工業の「群馬県産蒟蒻を活用した『口どけこんにゃく』の開発及び販売」。［11／12付ぐん経］

【楽天ポイントカード総代理店に】　エッジデザインワークス㈱

インターネット関連事業やデザインを手掛けるエッジデザインワークス㈱（代表取締役・本田義憲氏、前橋支部所属）はこのほど、県内唯一の楽天ポイントカード認定総代理店として活動を始めた。楽天は、運営するインターネットモール「楽天市場」の会員向けに買い物100円（税抜）で１ポイントが付与され、１ポイント１円として使える「楽天スーパーポイント」を展開してきた。昨年秋からは実店舗での利用も可能となり、加盟店を増やしている。

エッジデザインワークスでは、７社ある代理店を通し、３年計画で1000社の加盟店を募っていく。本田社長は「楽天ポイントを持っている人は多いが、ネットでしか使えず店舗で使えればという思いの人は多い。加盟店には有効な手段だと思う」と話している。［11／19付ぐん経］

【息子が司法、弁理士試験に合格】　羽鳥国際特許商標事務所

羽鳥国際特許商標事務所、代表・羽鳥亘氏（前橋支部所属）の２人の子息がそれぞれ今年度の司法試験、弁理士試験に合格した。全国的にみてもまれなケースで、同事務所では、「特許・商標などの知的財産権の保護について、実務・法務の両面から業務を行う基盤が整った」としている。

羽鳥所長は、「知的財産権は今後ますます必要性や重要性が高まる。信頼される事務所を目指し、また県内企業にとっても、５年後、10年後の群馬を背負っていける基盤としたい」と話している。［11／19付ぐん経］

【社名変更】

中根攻務店、代表・中根雅視氏（前橋支部所属）では、この度、「ACE Auto Service」に社名を変更しました。

第7回 理事会報告

日時　十一月二日（月）
　　十八時三十分～
会場　同友会事務所
出席者（順不同・敬称略）
正副代表理事／相沢
常任理事／丹羽、平岩、高橋、町田、阿左見
理　事／海老沼、佐藤、丸橋、諏訪、高橋、前田、金井
事務局／黒岩、阿久澤、竹内
（役員計十三名）

【議　事】

伊勢崎支部の諏訪氏が議長をつとめ、相沢副代表理事挨拶のもと、第七回理事会開会。

Ⅰ．報告連絡事項

1．支部・部会・委員会報告

各組織代表者より、報告や案内連絡等がありました。

2．その他

○支部還元金（下半期分）の支払報告がありました。
○特別支援学校見学会②の案内がありました。
○金井理事より、マイナンバー制度に関する情報提供がありました。

Ⅱ．承認事項

1．経営研究集会の最終確認

高橋実行委員長より、先日開催されたグループ長事前会議の報告とあわせて研究集会当日の詳細が確認されました。

2．公正取引委員会からの「懇談会」申し入れについて

公正取引委員会から依頼のあった懇談会の開催について検討し、十二月理事会の中で開催することを決定しました。

3．新年度の理事候補者推薦について

新年度の理事候補者選任について、次回理事会に各支部（部会・委員会）とも候補者を推薦することを申し合わせました。

4．入退会者承認と仲間づくり推進について

前回理事会以降の入会者三名を承認。会員数は五一四名となりました。

Ⅲ．審議事項（意見交換）

山岸代表理事、提箸副代表理事が出席予定の「金融庁の業務説明及び意見交換会」に向けて、金融情勢等について意見交換を行いました。

今年もこれらの意見をまとめ、主催者側に資料として提出することを確認しました。

Ⅳ．その他

1．次回の理事会開催日程

第八回理事会を左記の通り開催することを確認しました。

日時：十二月一日（火）
　　十八時三十分より
会場：同友会事務所・会議室

新会員ご紹介

11月度常任理事会承認
会員名簿追加録（順不同・敬称略）
企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

前橋支部

㈲アオキ塗料　〒371-0044　前橋市荒牧町2-29-16
TEL：**027－235－1175**
FAX：027－235－1179
塗料・塗料機器・防水材・関連資材の販売及び塗装工事、リフォーム工事請負
ゴルフ

専務取締役
青　木　隆　広
S56年生

【紹介者／朽木　康】

この度、入会させていただきました㈲アオキ塗料の青木隆広でございます。弊社は建築塗料、塗装機器、洗浄機の販売及び塗装工事、リフォーム工事の請負をしております。異業種の皆様と触れ合い、多くを学び、公私共に成長したいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

前橋支部

㈱松永総合企画（葬祭企画　響）　〒371-0832　前橋市朝日が丘町2-12
TEL：**027－289－9688**
FAX：027－289－9968
葬儀施工、修復・特殊メイク、永代供養墓地（埋葬先）案内、など

代表取締役
松　永　　充
S54年生

【紹介者／高島正和】

自社ホール（式場）を所有せず、公営斎場を利用することで低価格な葬儀プラン。また、宗教を問わないお葬式のプランニングをいたします。お気軽にお問い合わせください。会員の皆さまと一緒に学んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

伊勢崎支部

㈱ベスト・エデュケーション　〒379-2231　伊勢崎市東町2610-1 2F
TEL：**0270－61－0051**
FAX：0270－75－1158
主に小中高校生に対する個別学習塾の運営
登山（ハイキング）・写真・音楽（ドラム）

代表取締役
佐　藤　秀　人
S45年生

【紹介者／事務局】

弊社は主にベスト個別指導学習会という学習塾の運営を行っている会社です。「本来、学ぶことは楽しいことである～学ぶ楽しさに気づかせたい～（一部省略）」という教育理念のもと、楽しくて成績が上がる理想的な学習塾を目指しています。どうぞよろしくお願いします。

『同友ぐんま（通常号）』広告募集

［広 告 料］2万円（一口×6回掲載）
［スペース］縦44mm×横87mm（一口分）

＊掲載を希望される場合は、同友会事務局までご連絡をお願いいたします

群馬中小企業家同友会・事務局
TEL 027-232-0001　FAX 027-232-0666